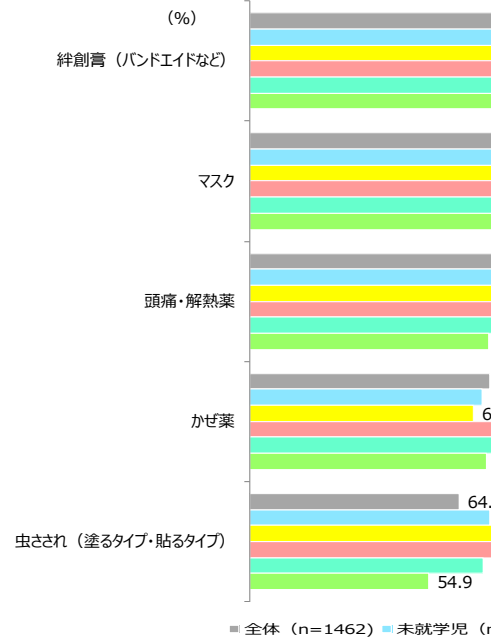


01 Woman's Trend

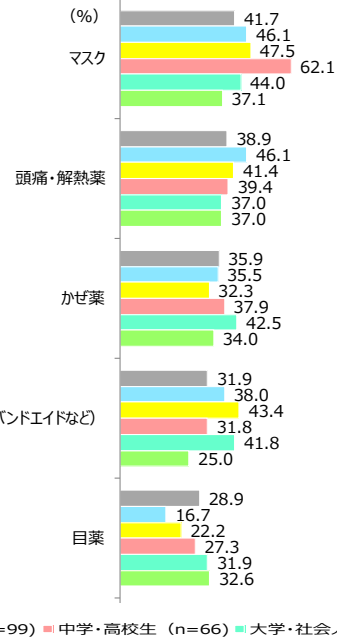
家庭の常備薬、買い置きがあつてよかった、なくて困った薬は？

せっかく買ってあつたのに使用期限切れ…の悩み多し

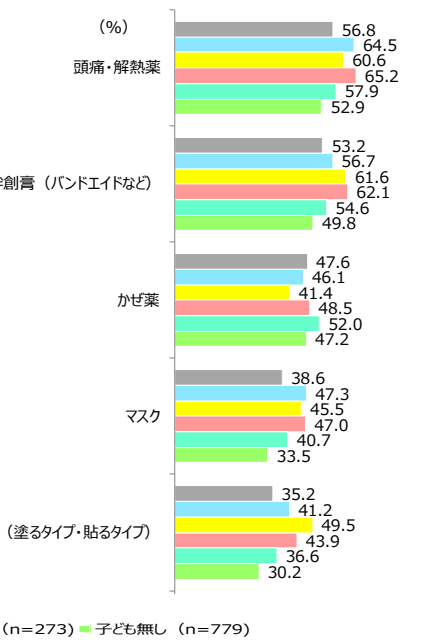
◆常備している市販薬、衛生用品 トップ5 (グラフ1)



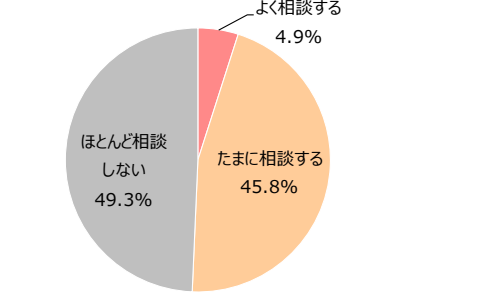
◆買い替え頻度 トップ5 (グラフ2)



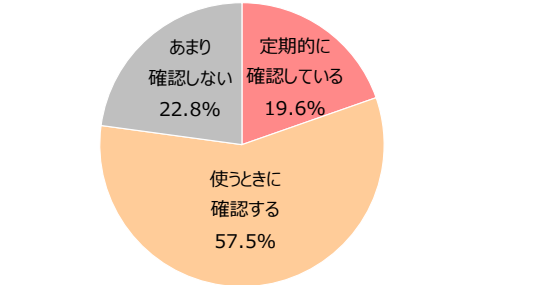
◆買い置きがあつてよかった トップ5 (グラフ3)



◆市販薬を購入する際、薬剤師に相談することはありますか？ (グラフ4)



◆常備薬の使用期限は確認していますか？ (グラフ5)



家庭でどんな市販薬や衛生用品を常備しているか、購入のチャネルや実態について調査した。年代別クロスよりも、子どもの有無・子どもの学齢別の方が特徴が出るので、末子学齢別クロスでグラフでご紹介していく。

常備している、買い替え頻度が高い市販薬・衛生用品トップ5はグラフ1・2の通り。マスクは使い捨て品ということもあり、常備も買い替え頻度もかなり高くなっている。薬では、「頭痛・解熱薬」「かぜ薬」が高くなっており、「虫さされ」は中学・高校生までの子どものいる家庭での常備率が高い。トップ5に入らないカテゴリーでは、「虫よけ」「熱冷却シート」の常備率が子どもが小さい家庭で高く、「消毒薬」「ガーゼ」「包帯」は中学・高校

生がいる家庭での常備率が高いのが特徴。部活などで、ちょっとしたケガが多いのだろうか？

一方、「買い置きがあつてよかった」薬品は「頭痛・解熱薬」「かぜ薬」が上位(グラフ3)。「買い置きがなくて困った」もこの2種がトップで、買い替え頻度も高いことからよく利用されていることが窺える。

市販薬の購入場所は、ドラッグストアが89.0%と圧倒的。ネット通販利用はごくわずかで、実店舗利用がほとんどだが、薬剤師には「ほとんど相談しない」が半数だった(グラフ4)。

また、買い置きしている薬の使用期限について聞いたところ、半数超の57.5%が「使うときに

確認する」と回答しているが(グラフ5)、市販薬に関するギモンのフリーアンサーでは全557件のうち使用期限についての内容が108件もあった。代表的な声は「使用期限が過ぎていたので、もったいないが処分した」「使用期限が過ぎていたが

◆市販薬の消費期限に関するギモン フリーアンサーから抜粋

- ◆同様の効果がある薬でも、メーカーによって、使用期限の長さが異なるため、できるだけ長いものを選んで購入していますが、何が違つて使用期限に違いが出てくるのでしょうか？(防腐剤のようなものが入っているのでしょうか？(28歳))
- ◆消費期限が過ぎているものも、常備薬が切れている時は服用してしまうこともあります。効果のほどは？(46歳)

使った。大丈夫だろうか」など。せっかく買ってあつたのに使うときに確認したら、使用期限が過ぎていた、使用頻度があまり高くないが、いざ、というときに常備していないと困る…、そんな薬の内容量の見直し、少量サイズの販売を望む声は多い。

2019.5.29~6.2 リビングWeb・あんふぁんWeb・シティリビングWebでのWeb調査 集計数：1462人 / 平均年齢：43.7歳 / 内訳：20代以下11.7% 30代29.5% 40代28.0% 50代20.0% 60代以上10.8% / 末子学齢：未就学児16.8% 小学生6.8% 中学・高校生4.5% 大学・社会人以上18.7% 子ども無し53.3% データは小数点2位以下四捨五入

02 Working Woman's Real

詳細レポートはくらしHOWサイト「働く女性の今とこれから研究室」で

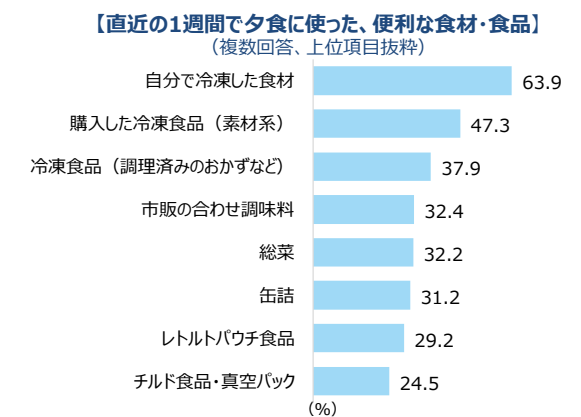
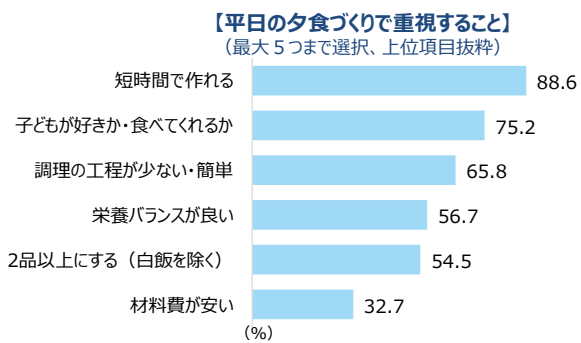
【ワーキングマザーの平日の夕食づくり事情】 ほぼ平日につくるから、時短・簡単！ 「子どもが食べる・栄養・2品以上」も大事

未就学児のいるワーキングマザーは、どのように平日の夕食を準備しているのだろうか？64.4%が「ほとんど平日に調理」していて、調理時間は1日平均「30分~1時間未満」52.0%、「15分~30分未満」39.9%が大半を占める。

平日の夕食づくりで重視することは、短時間で簡単に作れることはもちろんだが、「子どもが食べるか」「栄養バランス」「2品以上」も過半数が気にかけている。

直近の1週間で夕食に利用した、時短に役立つ食材・食品を聞いたところ、「自分で冷凍した食材」がトップ。「購入した冷凍食品(素材系)」や「市販の合わせ調味料」なども活用して調理をがんばっている様子が窺える。一方で、温めるだけでOKの「冷凍食品(調理済みのおかずなど)」「総菜」「レトルトパウチ食品」も各3割程度が利用。メリハリつけて、忙しい毎日乗り切っている。

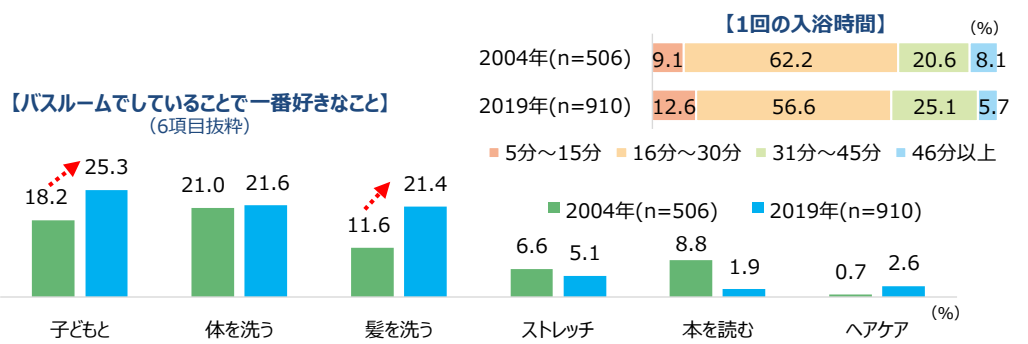
2019.3.20~3.31 Webアンケート調査 集計数:404
働き方：フルタイムワーク76.0%、パート・アルバイト15.6%、自営・フリーランス1.7%、産休・育休中6.7%



03 Decennial Data

バスタイムに関するデータはくらしHOWサイト「自主調査レポート」に掲載中！

子どもとのコミュニケーションや洗髪を重視する率がアップ 平均27分のバスタイム、理想はあと5分！



子どものいる主婦の入浴について、15年前の調査と比較してみた。2004年は有職率30.9% (うちフルタイム勤務7.3%) だが、2019年は60.6% (うちフルタイム勤務24.4%) と大幅に増加。仕事に家庭に忙しくて、入浴時間は短くなっているのでは…と思いきや、さほど変わらない。入浴時間の平均は26.9分で、理想は平均31.8分。あと5分のゆとりが欲しいといったところか。

お風呂でしていることで一番好きなこと1位は「子どもと遊ぶ・話す」で、2004年より約7

ポイント多い。自由回答では、テレビや家事を気にせずに向き合える、貴重なコミュニケーションタイムという意見が目立った。

また「髪を洗う」も21.4%と、2004年より約10ポイント多い。「髪の毛を洗うときに軽くマッサージをするので、それが気持ちよくて好き」「毎回さまざまな香りのシャンプーを買って娘と楽しんでます」など、汚れを落とすと同時に、マッサージや香りでのリラックス&リフレッシュ効果アップ。限られた時間を有意義に活用している。

調査方法 / Webアンケート 調査対象 / 「リビングWeb」「シティリビングWeb」「あんふぁんWeb」ユーザー
[回答者プロフィール] 末子学齢：未就学児38.0%、小学校低学年11.3%、小学校高学年6.8%、中学生・高校生13.3%、大学生以上30.6% 調査期間 / 2019.5.22~5.26 有効回答数 / 子どもがいる既婚女性910人 (平均年齢43.3歳)